

## 日本 EMDR 学会第5回学術大会、及び

### 「解離と EMDR:エンボディされた自己に向けて」ワークショップ(継続研修)のご案内

第2号通信 (参加者募集のお知らせ)

早春の候、みなさまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、随分遅くなりましたが、第5回学術大会とワークショップのご案内の第2号通信をお届けします。

**日時**：2010年5月14日(金)学術大会(一般演題、特別講演「EMDRと解離」)9:00-18:25)、懇親会(オリエンタルホテル、19:00-21:00)(金曜日の受付は8:30開始)

2010年5月15~16日(土・日)「解離とEMDR:エンボディされた自己に向けて」ワークショップ(9:00~17:00)(受付8:30~、開始9:00)

**場所**：14日：三宮研修センター(705,801,805号室) <http://www.f-road.co.jp/kenshu/access.htm>

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通4丁目2-12

TEL:078-232-0081 FAX:078-232-0091(三宮徒歩5分)

15-16日：神戸国際会館(大会場(9F)) <http://www.kih.co.jp/access/index.html>

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通8丁目1番6号

TEL:078-231-8161 FAX:078-231-8120(三宮徒歩3分)

**懇親会会場**：オリエンタルホテル <http://www.orientalhotel.jp/jpn/access/>

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区京町25 TEL:078-326-1511(三宮徒歩10分)

注：宿泊はご自身でご手配下さい。

**参加申し込み**：2010年4月23日(金)まで受け付けます。ただし、ワークショップに関しましてはPart2修了者を優先します。学会に関しましては、先着順の受付となります。学会及びワークショップ参加希望のPart2修了者、学会のみ参加希望のPart1修了者は郵便局の振り込み用紙を利用して通信欄に別紙の要領で内訳を記載してご入金下さい。ワークショップ参加希望のPart1修了者は参加希望のみをメールにてご連絡下さい。23日時点で定員に余裕があった場合、お申し込み順に参加の可否をご連絡しますので、その時点でご入金下さい。

**参加費**：学会(懇親会別)のみ8,000円、懇親会のみ7,000円、ワークショップ1日間17,000円(土曜日か日曜日を明記)、ワークショップ2日間32,000円、学会、及びワークショップ(懇親会別)38,000円  
振込先は、郵便局振替口座 01760-4-38541 名義：日本EMDR学会

(もしくは、ゆうちょ銀行 708 普通 1050648、振込の内訳をメールでご連絡頂く必要があります)

**学会参加資格**：日本EMDR学会会員

**ワークショップの受講資格**：日本EMDR学会会員(Part2修了者を優先します)

**定員**：250名(学会)、90名(懇親会)、150名(ワークショップ)

注：ワークショップは臨床心理士の継続研修としてポイント申請の予定です。学会、及びワークショップは日本精神神経学会の精神科専門医のポイントを得る機会に認定されています。

#### 【問い合わせ先】

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学大学院発達心理臨床研究センター

市井研究室内 日本EMDR学会事務局

Tel & Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp

5月14日(金)9:00-18:25 学術大会(三宮研修センター)、19:00-21:00 懇親会(オリエンタルホテル)

		A会場(805号室)	B会場(705号室)	C会場(801号室)
9:00-9:10		理事長あいさつ		
9:15-9:45 (30分)	演題	A1:危機介入としてのEMDRの適応 ー性被害直後と産業施設災害1ヶ月 半後の介入ー	B1:HIV感染者へのEMDRー障害受 容を促進した症例を通して	C1:「身体表現性解離」判定質問紙 S.D.Q-20 日本語版の紹介
	演者	近藤千加子 心理相談室ころ 愛 知学院大学	岡田太陽・市井雅哉 兵庫教育大学	鈴木伸 前橋協立病院
	司会	大澤智子 兵庫県こころのケアセンター	有村達之 九州大学心療内科	福井義一 東海学院大学
9:50-10:20 (30分)	演題	A2:外国人へのEMDRの経験	B2:非行少年に対する更正プログラ ムの研究ー傷つき体験へのEMDR活 用の可能性ー	C2:直接の外傷体験は扱えなかつた が妊娠出産を機に治療終結した解離 性障害の症例
	演者	杉山登志郎・海野千畝子 あいち小児保健医療総合センター	土持さやか 早稲田大学大学院人間 科学研究科 東京家庭裁判所	森口和彦 田岡東病院精神科
	司会	本多正道 本多クリニック	菊池安希子 国立精神・神経センター	仁木啓介 ニキ・ハーティール・ホスピタル
10:25-11:10 (45分)	演題	A3:小児科病棟における神経性食思 不振症女児のケースへのEMDRの試 み	B3:眼球運動についてのアナログ研 究	C3:EMDRを用いた禁煙支援プログ ラムの開発
	演者	名和淳 新潟県立新発田病院	吉川久史・市井雅哉 兵庫教育大 学	牧野有可里 渡辺メンタルクリニック 福井義一 東海学院大学
	司会	杉山登志郎 あいち小児保健医療総合センター	福井至 東京家政大学	太田茂行 生活相談室ナヌーク
11:15-12:00 (45分)	演題	A4:吃音恐怖のクライアントへの EMDRの適用	B4:EMDRと臨床動作法を併用した治療: 交通事故でPTSDを呈した広汎性発達障 害(PDD)の傾向がある成人男性の症例	C4:EMDRを用いた難治性皮膚疾患 に対する治療ーアトピー性皮膚炎を 中心にー
	演者	原田憲明 ひがメンタルクリニック けやき心理相談室	種子幸子 兵庫教育大学 本多クリ ニック	上田英一郎 兵庫医科大学皮膚科 山西清文 兵庫医科大学皮膚科 福井義一 東海学院大学
	司会	小林正幸 東京学芸大学	幸田有史 京都児童福祉センター	名和淳 新潟県立新発田病院
12:00-13:00		総会 (昼休憩:総会参加者にはお弁 当を無料で用意します)		
13:00-14:00 (60分)	演題	教育講演:解離の基礎	B5:親子の関係性の改善とEMDR	
	演者	福井義一 東海学院大学	大河原美以 東京学芸大学 鈴木廣子 すずきひろこ心理療法研 究室	
	司会	北村雅子 川越心理研究相談室	柴田健 秋田大学	
14:15-16:15 (120分)	演題	特別講演1:EMDRと解離:解離の 神経生物学		
	演者	Ulrich Lanius PhD(ウリッチ・レーニア ス)		
	通訳	大澤智子(兵庫県こころのケアセン ター)・菊池安希子(国立精神神経セン ター)		
	司会	仁木啓介 ニキ・ハーティール・ホスピタル		
16:25-18:25 (120分)	演題	特別講演2:EMDRと解離:解離のス クリーニングと認識		
	演者	Sandra Paulsen PhD(サンドラ・ポー ルセン)		
	通訳	大澤智子(兵庫県こころのケアセン ター)・菊池安希子(国立精神神経セン ター)		
	司会	市井雅哉 兵庫教育大学		
		徒歩で移動(7分)		
19:00-21:00		懇親会(オリエンタルホテル)		

5月15日(土)～16(日) 9:00-17:00

ワークショップ(神戸国際会館、大会場(9F))

「解離とEMDR:エンボディされた自己に向けて

(身体的介入と自我状態への介入にEMDRを統合する)」

15日(土):神経生物学、EMDR、そして、身体的介入

特別講師:Ulrich Lanius PhD(ウリッチ・レーニアス博士)



司会:市井雅哉(兵庫教育大学発達心理臨床研究センター)  
通訳:大澤智子(兵庫県こころのケアセンター)・菊池安希子  
(国立精神神経センター)

招待講演者:Ulrich Lanius PhD (ウリッチ・レーニアス博士)

1991年サカチュワン大学にて博士号取得。リバービュー病院心理士、ロイヤルコロンビア病院コンサルティング神経心理士、スパンサーカーティス財団科学顧問などを経て、現在バンクーバーにて個人開業。臨床、神経心理学でのコンサルタントを行う。PTSD、身体表現性障害、解離性障害を含めたストレス関連性障害の治療が専門。神経心理学、心理診断学、司法精神医学的評価も専門。

16日(日):自我状態セラピーとEMDR

特別講師:Sandra Paulsen PhD (サンドラ・ポールセン博士)

司会:市井雅哉(兵庫教育大学発達心理臨床研究センター)  
通訳:大澤智子(兵庫県こころのケアセンター)・菊池安希子(国立精神神経センター)

招待講演者:Sandra Paulsen PhD (サンドラ・ポールセン博士)

1986年ハワイ大学で博士号を取得。現在ワシントン州ベインブリッジ統合心理学研究所において、個人開業、個人、組織へのコンサルテーション。特に、EMDR、エネルギー心理学、心的外傷、解離、自我状態療法、パフォーマンス向上、認知行動療法に力点をおいている。解離の連続体に跨るEMDRと自我状態療法に関するワークショップ、EMDRを用いた身体ワークと直感の統合についてのワークショップを行う。企業へのコンサルテーションでは、パフォーマンス向上、コミュニケーション戦略、企業トップへのコーチング、ワークショップ、情報デザインを通しての個人、チーム、組織の発展・変容を強調している。EMDR研究所のため、[www.behavior.net/emdr](http://www.behavior.net/emdr)のモデレーターを勤めている。来日経験も多い親日派。

